

# 「地域おこし協力隊」は何をするのか

「地域おこし協力隊は、なにをするのか？」  
 といった質問や疑問が、多くの方から寄せられています。  
 これまで、各集落でのあいさつ回りやイベントの手伝いなどで、  
 黄色いツナギのユニフォーム姿を見かけた方は少なくないと思いますが、  
 委嘱状が交付されてから約2カ月余り経過して  
 実践を伴った研修期間が終わり、その任務も具体化してきましたので、  
 冒頭の質問に答えるべく、地域おこし協力隊の役割と仕事についてご案内しましょう。

## 1 基本的な役割は、集落の維持・発展に貢献すること

地域おこし協力隊の役割は、限界集落化が進んでいる地域の営みが、今後とも支障なく維持され将来的には発展できるように、住民と協力し合つて共に地域を支えていくことです。必ずしも、地域のお年寄りだけを支えることが、役割ではありません。  
 例を二つ上げましょう。地域おこし協力隊は現在、鈴川地区の小学生が野球少年団の練習に合流できるよう、送迎を行っています。これは、地域のお年寄り支援とは関係がなさそうですが、小学生の家庭のほとんどが農

## 2 具体的にはどんな仕事をするのか

地域おこし協力隊の具体的な仕事には、主に次のようなものがあります。  
 (1) 農作業の支援  
 『農作業支援』と言っても、

単なる労働力ではないので、農作業パートの代わりはできません。次の2つの原則に沿つて、農作業支援を行います。  
 ① 独居あるいは高齢者だけの世帯で、農作業に支障が生じている場合  
 ② 現役の農家が怪我や疾病などで、一時的に農作業ができない緊急時  
 この2つ以外の事情で困っている等の場合は、ご相談(※1)ください。なお、協力隊は農業の専門家ではないので、対応できる作業は限られます。対応できる場合でも、手順を教えていただいでから、作業にあたります。  
 (2) 生活支援  
 ① 地域自治活動の支援

農繁期などで地域の集会所などの草刈りができない、葬儀の会場運営の手が足りない、若い人が少なく神社祭りの準備が大変だなど、

地域の維持にとつて重要な自治活動への支援活動もを行います。  
 ② コミュニケーション活動  
 独居などで会話の少なく



地域おこし協力隊による「絵の具であそぼ！」

なつたお年寄りとのおしゃべりなど、孤独感を癒し地域社会との交流を回復するきっかけづくりを支援するため、高齢者世帯の見守り活動を行います。不審な車に注意を払い、訪問販売などの消費者トラブルを未然に防ぐことにも貢献できるでしょう。

ただし、食事などの調理は、対象となりません。  
 ③ 外出支援  
 車がない、バス停が遠い、足が不自由などの高齢者が、通院や買い物、用事などに利用できるよう、日時と場所を決めて協力隊が車で送迎するシステムを検討中です(※2)。

また、事前の申し込みが必要ですが(※1)、可能な限り対応します。これは、喜茂別町内のみを範囲とする外出支援です。町外への外出については、バス停まで送迎します。なお、お金を預かつて買物の代行をすることや、救急患者の緊急輸送活動は、できません。  
 ④ 家の周りの環境整備支援  
 思うように体が動かなくなつた高齢者の家の周りの草刈りや花植え、庭木の剪定、ごみ処理や清掃、物置の整理、屋根の修繕やペンキ塗りなどの軽微な作業から、家の前の除雪や屋根の雪下ろしなども支援活動の対象です。薪割り、アンテナ調整など、様々な要望にも対応します。お問い合わせください(※1)。専門家が必要となる場合には対応できないこともあります。  
 ⑤ 家電やパソコン、IP告知端末など機器利用の支援  
 パソコンやインターネットなどの基本的な操作を教えた後、トラブルを解決するお手伝いをします。また、IP告知端末が全世帯に導入された場合の操作方法などは、何度でもお伺いします。

## (3) 地域の見回り

山間の耕地や集落周辺には、不法投棄が絶えません。協力隊は定期的に地域全体を巡回し、不法投棄の発見と報告を行います。道路や側溝、橋梁、交通標識、空家、法面などの破損状況についても報告します。このほかにも、住民の方からの要望や

集落の状況に応じて業務を検討します。

## 3 全町民を対象にしたまちづくり活動

協力隊の活動領域は、担当する地域や集落だけが対象ではありません。市街地や他の地区住民を含め、全ての町民を対象とする活動も行います。これは、協力隊一人ひとりの特性やノウハウを活用したまちづくりの活動です。その中から、具体的な事例を紹介しましょう。

### (1) 「絵の具であそぼ！」

8月12日、解体が間近の旧喜茂別保育所に、子どもたちが集まりました。床や壁、窓の全てをカンバスに、バケツいっぱい絵の具を手のひらや足の裏に付けて、歩き回ったり走ったり、ほうきに絵の具をつけて掃除をしたり、

普段出来ない、落書きを思いっきり楽しむ「子ども絵画教室」が行われました。これは、協力隊の宇野嘉祐さん、徳永純子さん、鏑木健史さんが企画し、全員で実施したイベントです。協力隊の個性が発揮され、これまでにない

ユニークなイベントとなりました。

### (2) 定山溪温泉ツアーで 整体サービス

高齢者に人気の定山溪温泉ツアーは、今年度から毎月行われるようになりました。このツアーに協力隊も参加して、さまざまな支援活動を始めます。整体師の資格を持っている協力隊の小川泰樹さんが、湯あがりに体のケアを行い、参加されたみなさんに大好評でした。

### (3) これからもいろいろ

協力隊の中には、福祉活動の経験者や、IT関連のプログラマーなど、様々なノウハウを持っているメンバーがいます。これから、多様なまちづくり活動が期待できます。  
 \* 次回は、5人の「集落支援員」の仕事をご紹介します。

### 地域おこし協力隊と 集落支援員の、

### 地区担当が決まりました

8月中旬から、地区ごとに活動を始めています(※2)。見かけましたら、気軽に声をかけてください。

地区担当	地域おこし協力隊	集落支援員
伏見・栄地区	橋口 とも子さん／前田 真良さん	宮本 弘夫さん
比羅岡・留産地区	鏑木 健史さん／工藤 大文さん	行天 勝美さん
鈴川地区	小川 泰樹さん／徳永 純子さん	菊地 光雄さん
御園・金山地区	宇野 嘉祐さん／山下 純さん	松井 孝司さん
双葉地区	岩井 真さん／柿崎 敦紀さん	熊谷 實さん

※1：ご相談の連絡先は、地域おこし協力隊タウンマネージャーの山田冬太さん。  
 ☎ 55-8811 (インフォメーションセンター)  
 ※2：日時や場所など具体的なことは、近日中にご案内いたします。